

宮城県内

宮城県と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所がパートナーシップ協定を締結

6月13日(水)、宮城県庁内において宮城県と独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構農村工学研究所(以下、農村工学研究所)による、東日本大震災に係る農業

・農村の復旧復興推進のためのパートナーシップ協定の締結式が行われました。
この協定は、宮城県内の東日本大震災により被災を受けた農地・農業用

施設等の復旧復興に当たり、技術的な課題への迅速な対応及び今後の防災・減災対応を築くための継続した検討が必要のため、この分野の研究を専門的に行っている農村工学研究所から宮城県が技術支援を受け、県は農村工学研究所への研究フィールドの提供等を行うこととしたもので、お互いの協力体制を明らかにするため、全国初となる協定を結んだものです。

本締結式では、関係者9名の紹介が行われた後、協定書への署名が行われました。署名後、村井嘉浩宮城県知事は「被災農地の復旧復興に向け、ほ場の大区画化等の再編整備を進めるに当たって、地盤沈下や塩害等に対する技術的課題に対して専門的な立場から支援が得られることは、県にとつて大きな推進力となる。感謝します。」と述べました。また、農村工学研究所の高橋順二所長は「宮城県の大震災からの早期復興に向けて、防災減災の技術開発を行ってきた農村工学研究所の成果を動員し、被災地域の技術的課題に迅速かつ的確に対応し、一日も早い再生・復興の達成のお役に立ちたい。」と語りまし

協定の締結を行う高橋所長(右)と村井知事



協定締結後に技術支援の一環として開催された、農村工学研究所主催の技術相談会
=7月11日 石巻市